

改善計画書

施設名 桑陽保育所

(担当者 後藤智子)

(作成年月日 令和 7年 2月 20日 作成)

改 善 事 項 等									施設コメント
（施設として特に優れている点） やり続けること	1	職員数は多いが、書類時間のシートやToDoリストを用いて見える化し、職場環境を整えている。情報共有は周知し、統一した意識を持ち働くことができるようにしている。							
	2	所長が各会議に参加して相談やアドバイスなどの対応をし、円滑なクラス運営や保護者支援につなげている。							
	3	各保育士が毎月の園内研修や外部の様々な研修に参加して、研鑽を積み、保育、保護者支援の遂行につなげている。							
	4	保護者の就労状況、家庭環境に合わせて、送迎時や懇談会などを活用し、保護者が安心して子育てができるように丁寧な関わりを継続している。							
	5	園庭開放、あおぞら出前保育、一時預かり事業など、地域のニーズに合わせて子育て支援を継続している。							
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール（人・予算・情報・手順等）	担当	
すぐできること	1	職員の人数が多いため情報共有が難しい時がある	情報共有を徹底する	2か月 （継続的）	R7. 3	R7. 5	職員会以外の小会議の記録も、回覧しやすい場所に置き、情報共有を徹底できるようにする。	所長、主任	
	2	プライバシー保護に対し統一した仕組みが足りなかった	プライバシー保護に対し、整備し強化する	1年	R7. 3	R8. 3	子どものプライバシー保護についての文書（全国保育士会発行の「子どもへの性暴力防止」の視点から考える保育の専門性）を回覧する。またプール前などに園内研修で取り入れ、プライバシー保護に対して意識を持ち、統一した支援ができるようにする。	所長、主任	
	3	地域との交流が難しい	地域との交流を図る	1か月 （継続的）	R7. 3	R7. 4	今まで通り継続して、地域の道路の草抜きや雪かきなどを協力し合い、交流をしていく。子育て経験者との連携は、機会があれば積極的に取り入れる体制をとる。	所長、主任	
	4								
	5								
工夫すればできること	1	実習生の受け入れマニュアルがない	実習生受け入れマニュアルを作成する	1年	R7. 3	R8. 3	所長会、主任会において全公立保育所の実習生受け入れマニュアルを作成する。	所長、主任	
	2								
	3								
	4								
	5								
予算化しないとできないこと	1	人員配置の充実	様々なニーズに対応可能な人員の強化	1年	R7. 4	R8. 3	ニーズに応じた様々な形態の職員（長時間対応職員・保育補助員）の採用をする。所長を中心に積極的にコミュニケーションを図り、長期間勤める意欲の持てるような働きやすい職場づくりを目指す。	幼保支援課、所長、主任	
	2								
	3								
	4								
	5								